

# 彩湖

だより

S A I K O



## カワセミの見られる池をめざして



学習センターには「ミニ彩湖」という小さな池があります。以前、この池にはカワセミが飛来していましたが、水面をオオフサモという外来種の水草が覆ってしまっただけからは、カワセミは姿を見せなくなってしまいました。学習センターでは、ミニ彩湖のオオフサモや、カワセミの餌となるモツゴを食べてしまうライギョやブルーギルなどの外来魚を除去し、「カワセミを再びミニ彩湖に」との小さな一歩を踏み出しました。課題はまだまだ山積みですが、もしかしたら、来年の野鳥観察会ではカワセミを見ることが出来るかもしれません。

# 彩湖の植物

## 【ひっつきむし：動物付着散布】

私たちは「ひっつきむし」と言っていますが、虫ではありません。これはれつきとした植物の実です。この実が動物や人間の体にくっつくことから、「ひっつきむし」と呼ばれています。地方によっては「ばか」、「どろぼう」などとも言われています。

ところで、動けない植物が長距離を移動するのは、花粉と種子の時です。種子が母株から離れて移動することを種子散布といい、その方法は大きく分けて5つあります。①風で運ばれる風散布（タンポポなど）、②はじけて飛び散る自動散布（カラスノエンドウなど）、③水に流される水散布（ハスなど）、④動物の体にくっつく動物付着散布（オナモミなど）、⑤実ごと動物に食べられて運ばれる被食散布（ガマズミなど）です。「ひっつきむし」は、④の動物付着散布に該当します。

たくさんある「ひっつきむし」のなかで、秋に彩湖周辺で見られる数種類をここでは紹介しましょう。

### ▼オオオナモミ（キク科）

北アメリカ原産の帰化植物で、荒地や道ばたに生える1年草。実には2本のくちばし状の突起と、かぎ針状のトゲがあります。このかぎ針状が面ファスナーの発明のヒントになりました。（実際にはオナモミに似た野生のごぼうの実だそうです。）

「オナモミ」の未熟な実や葉を揉んで（菜もみ）葉草として使ったことから名前がつけました。



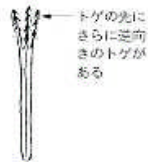
### ▼イガオナモミ（キク科）

熱帯アメリカ原産といわれる大型の1年草。沿岸地の草地や荒地地に群生する帰化植物。実は「オオオナモミ」と似ていますが、かぎ針状のトゲの根元にさらにトゲが生えているので区別がつきます。彩湖の水辺には「オオオナモミ」よりも多く生えていて、ここでは主流になってきています。



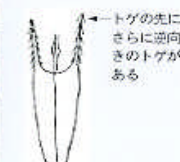
### ▼コセンダングサ（キク科）

熱帯アメリカ原産の1年草。道ばたや荒地に普通に生えています。彩湖では「アメリカセンダングサ」よりも「コセンダングサ」の方が多くみられます。黄色の花を9月から11月につけ、総苞片が小さいので「アメリカセンダングサ」と容易にみわけがつかず、実は細長く四角柱状で先端部のトゲは3〜4本でトゲにはさらに逆向きの小さなトゲがあります。



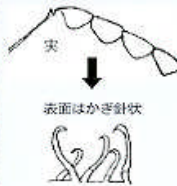
### ▼アメリカセンダングサ（キク科）

北アメリカ原産の1年草の帰化植物。茎は赤褐色になります。9〜10月に黄色の花をつけます。総苞片が大きく、実は扁平で実の先に2本のトゲがあり、トゲにはさらに逆向きの小さなトゲがついています。総苞片、実の形、先端部のトゲの本数などで「コセンダングサ」との区別ができます。



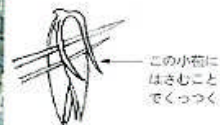
### ▼アレチヌスビトハギ（マメ科）

北アメリカ原産の帰化植物。日当たりのよい雑草地や道ばたに生える多年草。紅紫色で可愛い花をつけます。泥棒が室内に侵入する時足音のしないように、足の裏の外側を使って歩くその足跡に実の形が似ていることから「盗人萩」と名がつけました。「ヌスビトハギ」の実は2節ですが、「アレチヌスビトハギ」は4〜6節あります。実の表面は細かい毛がはえていて、毛の先端はかぎ針状になっています。触った感触はベタベタします。



### ▼イノコズチ（ヒユ科）

山野、道ばたなどいたるところに生える多年草。名前は茎の膨れた節の部分が、猪の子（イノコ）のかかとに見立てたところ由来します。緑色の花をつけ、実になると下を向きます。すると実の付け根にある針状のもの（小苞）が外側に向きます。これが動物の毛などにはさまりくっつきます。



# 彩湖自然学習センター講座

土・日曜は自然の中へ!

## 食べられる野草

自然観察会

春! 学習センター・ミニ彩湖周辺で今回採集した「食べられる野草」は、6種=タンポポ・シロツメクサ・アカツメクサ・ヨモギ・クズ・カラスノエンドウ。前半は採集、後半は試食。天ぷらを揚げる、そのスピードが間に合わない程の食欲!

「甘いよ・自然の香りがするね」等々。おいしい声が、あちらこちらから上がっていました。



## 秋の彩湖散策

健康講座

今年は「健康講座」と改名し、コースも一新。学習センターを起点とし、ハーベキュー広場・秋の七草広場・鑑賞池を巡り、道湖河岸釣堀・旧荒川水路跡を経て彩湖東岸へ。

コースを南へとり彩湖の碑へ、四角池・ミニ彩湖の木道を歩いて学習センターへ。途中、植物・野鳥観察を楽しみながら、心地よい秋風の中の「ゆっくり2時間コース」です。



## ススキのミズクづくり

こども自然観察教室



ミニ彩湖周辺のヨシ原に分け入って、ススキやオギの穂を採集。学習センター西側のレンガ敷き広場に座り込み、穂の長さを揃えて針金で束ね、ミズクの制作開始。……体形を整え、耳や目・口をつけると、やがて、スマートなミズク・ふっくらとしたミズク・赤目の二日酔いミズク等が、姿を現わす。

どれもこれも可愛いミズクに仕上がりました。



## 彩湖周辺の野鳥〜冬〜

野鳥観察会



多くの鳥が越冬に訪れる彩湖は、冬鳥の楽園となっています。親子連れ合いの中で、冬鳥の美しい姿を追いながら、講師の先生の楽しい話を交えての一時が過ぎていきます。

ハヤブサ・カンムリカイツブリ・カワセミ・ヨシガモ等との出会いもあり、11月より2月まで、初冬・真冬・厳冬・晩冬と4回に分けて、野鳥との触れ合いを楽しみました。



## 彩湖周辺散策

## (彩湖)

“彩湖は最高、さあ行こう!”と皆様に親しまれている彩湖。ぐるりと一周すると約8.5kmありますが、管理橋から流入堤を回る約4kmがおすすです。

はじめに管理橋の脇にある「彩湖」と彫ってある大きな石の裏側をのぞいて見ましょう。名付け親はたくさんいるんですね。

湖ではウィンドサーフィンをする人や、高さ60mにも吹き上げる噴水が見られます。橋を渡り終わって右に曲がるとジョギングやローラースケートを楽しむ人がいっぱいいます。でも、ここは野鳥観察の宝庫!、1年を通じて136種もの鳥が観測されていて、遠くから多くの方が訪れています。

貯水機場をぐるっと回ると左側は「風のはらっぱ」、右はサクラソウが見事です。右側の流入堤は、台風などで荒川が増水したとき、ここから彩湖へ水を流入させる大切な堤です。

この先が「荒川彩湖公園」(通称:カマキリ公園)カマキリの顔をした大きなすべり台や遊具もあり、親子連れで大にざわ

いです。ここで一休みしていると、目の前の湖にはまたたくさん水鳥がノンビリと浮かんでいるのが見られます。

ここからは屋根のある休憩所も水飲み場もあります。テニス、サッカー、野球・元気な声がいっぱいです。

帰りには学習センターに寄ってみましょう。屋上からの富士に沈む夕日、水面に映る夕焼けはまさに、“最高”です。



平成19年、彩湖周辺では、近年の環境破壊等により減少しつつある生態系ピラミッドの頂点に位置する猛禽類のオオタカ・ハヤブサ・チョウゲンボウ・トビ・チュウヒ・ノスリ・サシバ・ハイタカの実に8種類が、野鳥観察会の講師でもある高橋様ご夫妻により確認されており、自然の豊かさが残っています。

その一方で、絶滅が危惧されている植物があることも事実です。

彩湖自然学習センターでは、今後とも彩湖を模した小さな観察池・ミニ彩湖周辺で、手軽に観察のミニ体験ができるように、サクラソウ・トダスゲなどの希少植物を中心にその保護・育成の充実を図ってまいります。



**サクラソウ**  
埼玉県の絶滅危惧ⅠA類  
(絶滅の危険性が特に高いもの)  
戸田市 市の花



**トダスゲ**  
埼玉県の絶滅危惧ⅠA類  
(絶滅の危険性が特に高いもの)  
全国的にも希少植物  
大正5年に「戸田ヶ原」(現在のポートコースあたり)  
で発見される

### ご利用案内

- **開館時間** / 午前10時から午後4時30分まで
- **休館日** / ①月曜日  
(ただし、この日が第1・第3月曜日と休日に当たるときは除く)  
②年末年始(12月29日～1月4日の7日間)  
③館内整理日(毎月末日)  
(ただしこの日が土曜日・日曜日・休日に当たるときは除く)  
④その他教育委員会が必要と認めた日
- **入館無料**

### 交通案内

- **お車ご利用の場合**
  - ・ 東京外環自動車道 戸田西ICより約0.5km
  - ・ 新大宮バイパス 美女木交差点より約1km
- **電車ご利用の場合**
  - ・ JR武蔵浦和駅から下笹目行きバス  
「修行目」バス停下車徒歩8分



### 彩湖自然学習センター

〒335-0031 埼玉県戸田市大字内谷2887番地 TEL048-422-9991 FAX048-422-9993  
URL <http://www.city.toda.saitama.jp/433/432448.html> E-mail [kyo-saiko@city.toda.saitama.jp](mailto:kyo-saiko@city.toda.saitama.jp)

・この彩湖がよりはるかにやさしい河を紙を使用しています。